



ICTと環境問題について

富士通株式会社 代表取締役会長 あきくさ 秋草 なおゆき 直之



はじめに

御紹介いただきました秋草でございます。私は、「ICTと環境問題」の専門家ではありませんが、地球規模の大事な問題ですので、今日は「ICTと環境問題」に関する最近の話題を御紹介させていただきたいと思っております。環境問題は、近年、急に話題となっておりますが、気候変動から大気汚染、家庭のごみに至るまで対象範囲が広いので、ともすればとらえどころがなくなってしまいます。きちんと対処していくためには、少し焦点を絞って考えていくことが必要だと思っています。

環境は世界の問題

今年の正月にストックホルムに行きました。例年は零下10～15℃ぐらいになるのだそうですが、今年はもう雪もなく、湖には鳥が浮かんでいました。ヨーロッパの人たちは、これらの地球環境の変化に大きな危機感を持っていました。また、先週、メルボルンに行ったのですが、オーストラリアの南部地域は今年の正月以降2、3日しか雨が降っておらず、砂漠化が大きな問題となっております。反対に北部地域は豪雨で、こちらも大変なのだそうです。

先週の土曜日、イギリスの前首相トニー・ブレアさんが日本に来られました。私も含めて5、6人の経営者が呼ばれ、イギリス大使館で食事を御一緒しながらお話ししました。話題は、最初から最後まで環境問題でした。出席者全員に、どのような取組をしているのか、どのような方針を持っているのか、など非常に具体的な質問がたくさん出されました。

アメリカのゴア元副大統領や日本の小泉元総理も、第一線を退かれた後はみんな環境問題に取り組まれています。環境問題が世界的に重要な問題だということのあかしだと思います。

ICTと環境問題

ブレア前首相との席で、私は「ICTと環境問題とのかかわりがきちんと整理されていないと思う。ICTは、電気をたくさん使うので、環境を悪化させると言う人もいるが、機器の

消費電力や自動車の燃費などの効率改善はICTによって実現されているのであり、ICTの利用による効率改善の方が大きいのではないかと。ICTと環境問題との関係は、産業連関的に議論していく必要がある」ということをお話ししました。

排出権取引への危惧

日本経済団体連合会（経団連）が排出権取引に熱心ではないという話があちこちから聞こえてきますが、実際はそうではありません。私は3、4年前まで経団連の環境部会長をしていましたが、各企業は京都議定書を遵守すべく、鉄鋼、化学、情報・通信、自動車等それぞれ業種別に目標を立てて、それに向けてかなり精力的な取組をしており、評価の数字も絶えず出すなど、非常にまじめに取り組んでいます。

ところが、環境税や排出権取引という話が出てくると、金融機関や商社、マスコミなどの思惑も入り交じってきて、話が複雑化してなかなか進まなくなります。その結果として経団連は環境問題に熱心ではないと言われてしまっているのです。

排出権取引も大事なことではありますが、CO₂を削減することが第一義であって、排出権取引というビジネスの数字ばかりが表面に出て議論されるのは好ましくないと考えます。

国の産業政策を踏まえた議論を

製造業では、どのようにすれば省電力化できるかと様々な工夫をしています。通信機器も家電並みの大変な努力をしまして、消費電力はかなり少なくなっています。他方、産業全体でいいますと半導体や液晶の製造工場では相当量の電気を必要とします。今、私どもが2012～2013年の完成を目指して開発しているスーパーコンピュータを、現在の半導体技術や回路技術を使って作りますと、そばに発電所が必要となるくらいの電気を使います。これにはスーパーコンピュータ自体のほか、空調機や電源供給装置が使う電力も含まれますが、とにかく莫大なエネルギーを使います。これを何とか削減しようということで、半導体をはじめあらゆる面で



新技術にチャレンジしているわけです。

これから日本が、技術立国としてチャレンジしていかなければならない新しい技術は、皆相当量の電気を必要とするとっても過言ではありません。汎用機器と戦略的機器を区別しないで一律に取り扱ってしまうと、電気を大量に使うものは日本で使ったり、作れなくなってしまう。

環境対応は、もちろんやらなければいけないことですが、一方で国の産業をどう守るかという議論も必要なのです。ヨーロッパでは既にその辺の対応をきちんとしています。したかと言えはしたたかなのですが、我が国もこういうところを議論しなければいけないのではないかと考えています。

海外はアピール上手

世界的に知名度の高い大手の検索サービス、電子商取引、コンピュータソフト会社5社で全世界のサーバーの75%を使っていると言われています。世界最大手の検索サービス会社はサーバーを150万台使っているそうです。150万台という数は、私ども富士通株式会社で作っているサーバーの数よりも多いのです。この会社はホワイトボックスというノンブランドのサーバーをアジアの国から買ってきて、そして自国の大手半導体メーカーと一緒に自分ですべてサーバーファームを作っています。ですから自分がメーカーのようになっているわけです。

そこで、必要な電力をどうするかという問題が出てきます。大手検索サービス事業者はいろいろな委員会を作ってみたり、屋根にソーラーを取り付けてみたり、何かやっていますよというアピールを盛んにしています。欧米のこのようなアピールによって、結構進んでいるなど感じる人が多いと思いますが、私はそうは思っておりません。日本の方がまじめに取り組んでいるし、技術も日本の方が進んでいる。ただ他の分野でもそうですが、残念ながら日本はアピールが下手だと思えます。世界へアピールしていくには政治も関係しますし、民間と国とがどのように協力していくべきかという検討もまだまだ足りないと思っています。

環境を阻害するスパム、ポルノ映像

私どもの会社に入ってくるメールの大体9割はスパムです。それを管理者が事前にはじいて毎朝私のところに届くわけで

す。それでも3分の1ぐらいいはスパムです。そのためにサーバーが余計に働いているわけですし、我々もスパムを除去するという余計な時間を使っているわけです。インターネット・サービス・プロバイダーでニフティ株式会社という私どもの関係会社では、サーバー数千台を使っていますが、約4分の1はスパム対策用です。ここでも余計なエネルギーとスペースを使っています。きちんとしたデータは持っておりませんが、通信キャリアもほぼ同じ状況だと思います。

また最近では画像、映像がインターネットで広く使われるようになってきました。いろいろ話題にはなっていますが、ポルノなど性的興味本位なものも多く、これもまた余計なエネルギーを消費しています。表現の自由だとか何とかいろいろ難しい話もあるのですが、相当に無駄も多いのです。

インターネット上の情報は毎年加速度的に多くなっています。個人や会社あるいは国に必要な情報はわずかで、ほとんどが無駄な情報を運んでいるということであればお金ももったいないし、エネルギーももったいないと思います。

2007年の11月12～15日に、ブラジルのリオデジャネイロで国連のインターネットガバナンスフォーラム (IGF) がありました (本誌2008年1月号に報告記事掲載)。インターネットの公共政策課題について議論するために設置されたもので、今回が2回目でした。日本からは、総務省や経団連、民間企業の代表が出席されていました。私は、オープニングセッションで、インターネットガバナンスの問題に加え上述したようなインターネット上の不要な情報が環境に及ぼす問題も考えるべきだというお話をさせていただきました。



ITUクラブで講演する筆者



環境問題は水から

ブレア前首相は、東アジアで急速に発展しつつある中国の環境問題にも大きな関心を持たれていました。皆さん、日本の環境技術をその中国に提供すればよいか、いろいろなことを言っていますが、単に技術提供だけでは、うまくいかないと思っています。

環境問題は、国がいくら言っても、あるいはいろいろな技術を伝授しても、やはり一般の人が、痛みが分かって理解しないとなかなか実効が上がらないと思っています。私は、中国で最初に出てくるのは水ではないかと思っています。そこらあたりから、一般の人の意識が変わると、取組も変わってくると思っています。

目標を明確に

いずれにしろICTと環境というのは、これから非常に重要なキーワードだと思っています。今、環境問題は毎日のように世界中のどこかで会議が開かれています。私が会長をやっ

ているGIIC (Global Information Infrastructure Commission) でも、東京で4月末に経団連に協賛してもらってやります。これも環境とICTです。今いろいろなことをやっているのですが、残念ながら全体に一つのストーリーになっていないのです。それを早く作らなければいけないと思っています。

そして、環境対応については、私どもの会社でも、いろいろなことをやっています。ですから個々の会社でできることはそれなりに一生懸命やっているのですが、基本的には国全体の意識の問題や、メッセージをどう出すかという問題が非常に重要で、日本人は目標を出すと、がむしゃらにそれに向かって動きますから、それが今ないというのが私の個人的な感想です。

今日は、とりとめもない話をいたしました。この辺で終わりにしたいと思います。

御清聴ありがとうございました。

(2008年3月18日第364回ITUクラブ講演より)



ITUクラブで講演する筆者